

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### .理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### .安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### .サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名	水車の家
(ユニット名)	2階
記入者(管理者)	
氏名	上田 八重子
評価完了日	平成 19 年 12 月 3 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.理念に基づく運営</b>					
<b>1.理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 理念は職員が作成し、利用者さんがその人らしく生活できて和やかで笑顔あふれる日々を過ごせる理念を作っている。		
			(外部評価) 事業所の開設時「和やかで笑顔あふれる生活作り」という理念を職員で話し合い、作成されている。		さらに、この機会を地域密着型サービスを提供する事業所として、今後どのようなことを目指していくかということについて、話し合ってみる機会とされてはどうか。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 理念は新人研修及び毎朝のミーティングで復唱し心がけるようにしている。		
			(外部評価) 法人代表者が新人研修時、事業所の理念について説明をされている。毎日のミーティング時に復唱され、介護計画作成時にも理念に沿った計画が作成できるよう確認をされている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価) 公民館など地域の活動に参加し、事業所の理念や考え方、役割等を地域の方に説明している。ホーム内の見やすい所に掲示し、運営推進会議や家族会等でも説明している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 地域のボランティアの方が定期的に来てくれていますが、日常的な付き合いはできていない。		散歩をかねて近くの店に買い物に行くなどして地域の方との付き合いも増やしていきたい。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 自治会に参加はしていない。招待されたり、広報誌を見て地域の行事には積極的に参加しているが、十分でない。 (外部評価) 地域の敬老会や文化祭等に参加されている。事業所の畑の世話を手伝ってくださる近所の方もおられる。		今後も努力していく 事業所では、さらに地域の方達に事業所のことを、知っていただけるような取り組みをすすめていきたいと考えておられる。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地域の人が、認知症の相談にいられたり、市町村と連絡を密にして、介護教室や認知症サポーター研修などを行っている。また、実習の受け入れなども行なっている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 全員で自己評価に取り組むようにしている。外部評価の結果も全職員に伝えて、改善策を考えて取り組んでいる。 (外部評価) 毎日のミーティング時、評価項目の意味を職員で話し合い、まとめられた。前回の評価結果を受け、利用者個々の誕生日に事業所から湯のみをプレゼントされ、利用者は、お気に入りのものを使っておられた。		全員が意識して、改善できるよう取り組みたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価) 会議ではサービスの内容や、設備についても積極的な 意見があり、できる限り可能なことはすぐに実行し て、報告させていただいている。2ヶ月に1回の開催 により、ホーム内では気づかない指導もしていただ いている。		より多くの方に参加をしていただけるよう運営推進会 議の目的などを家族会や地域の中でも広めていきた い。
			(外部評価) 会議時、事業所の取り組みを報告されたり、テーマを 決めて意見交換をされている。又、出席者の方達と感 染症の勉強会等もされている。		今後、会議に出席いただけるメンバーについても工夫 を重ねていきたいと考えておられる。事業所では、ご 家族全員に案内を出すような取り組みも検討されてい た。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価) 発言や指導を受けたり、利用者さんの事故や苦情等は 連絡、相談をさせてもらっている。問題解決を図れる ような体制をとっている。		
			(外部評価) 運営推進会議時、市の担当者が資料を提供してくだ さったり、又、職員研修の情報等をいただくこともあ る。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価) 研修会や勉強会にできるだけ参加して理解しようと努 力している。現在、対象者はおられないが、パンフ レットなどの準備や窓口の紹介ができるように準備し ている。		勉強会を行い、職員の理解も深め家族さんにも説明で きるようにする。また、市町村の協力も得ていく。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 各研修会に参加し、認識している。また、社内の定期 的な勉強会やミーティングを通して日頃から虐待防止 に対する意識を高め、職員間でも気をつけるようにし ている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 時間をかけて利用者さんや家族さんが納得できるまで話し合っている。		不安や疑問が少しでも軽減できるようにこれからも努力していきたい。
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 介護相談員が月1回来訪されている。利用者さんの立場に立って相談や意見を言ってもらい、運営やケアの改善の提案をしていただいている。できるだけ、すぐ対応し、何でも言ってもらえる雰囲気をつけている。		外部の人が入ることにより、普段気づかず見過ごしている事の反省、改善をしていきたい。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 面会時には日頃の様子などを報告している。また定期的に写真を同封した手紙を家族さんに個々に郵送し、電話などでも報告している。		
			(外部評価) ご家族の来訪時、ご本人の日頃の様子を報告されたり、3ヶ月に1度、ご家族にお手紙を送付される際に写真を同封し、喜ばれている。又、通院の結果を記入したカードを作成し、ご家族にも見ていただくようにされている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 気軽に言ってもらえる雰囲気づくりを心がけており、苦情の場合は速やかに報告し、対応している。また、苦情の報告書を利用し、ミーティングや勉強会で話し合い改善している。		意見箱の設置を検討していきたい。
			(外部評価) ご家族の来訪時や運営推進会議等でご家族から意見をうかがい、事業所全体で話し合われている。		さらに、今後ご家族から意見をいただきやすいような仕組みや雰囲気作り等、工夫を重ねていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 日頃よりコミュニケーションをとりながら、個別やミーティングなどで職員からの意見や要望を聞くように努めている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 状況に合わせた人員配置ができています。緊急時や夜間の呼び出しにも対応できるようになっている。職員の急病や急な休みの時も調整できています。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) できるだけ顔馴染の職員で対応するように心がけている。異動があった時は利用者の方、家族の方にも紹介し不安を軽減できるように努めている。		
			(外部評価) 職員の異動がある場合、利用者やご家族にも伝え、利用者のダメージとならないよう、かかわり方等も気配りをされている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 今年度より研修班を作り、年間を通して1～2日間、新人・1年・3年・5年・5年以上の経験に応じた研修を実施し参加してもらっている。社外の研修でも職員が交代で参加できる様にしている。研修後はミーティング等で話をするようにしている。		
			(外部評価) 事業所では研修班を作り、職員の経験年数に応じた内容で研修会を行なっておられる。外部研修は、職員が交代で参加されている。法人では、職員の資格取得等にも積極的に取り組まれている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)		
			定期的な社外研修や勉強会で交流を持っている。また相互研修などで意見交換を行い取組みの参考にしている。		
			(外部評価)		
			利用者とともに他の事業所を訪問され、交流を図っておられる。相互研修・相互評価事業等では、他事業所の取組みを知る事で、気づきや考えるきっかけとなったと話しておられた。		
21		職員のストレス軽減に向けた取組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			日常会話の中からもストレスに対する悩みを把握できるよう努めている。親睦の機会などを作り、気分転換ができるようにしている。		
22		向上心を持って働き続けるための取組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			各職員の勤務状況や健康状態を把握している。資格が取れるように研修への参加や試験に向けての支援を行い、職場で活かせるようにしている。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			入居時には利用者さんから生活していく上での希望や悩みなどを聞き、フェイスシートに書き込み全職員が把握するよう努めている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 事業所に相談に来られた際、家族さんが不安に思っていることや求めていることなどを聞き、具体的な場面も表現できるよう配慮している。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談時に必要な事は何か本人さんや家族さんとよく話しながら、必要なサービスの紹介をしている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人さんの性格や生活歴を聞き、気持ちなどに配慮しながら少しずつ馴染めるように努めている。入居前のホームの見学や、入居開始後は家族さんにも協力を得て、再々来訪してもらったり、連絡を密にして本人さんの不安感の軽減に努めている。 (外部評価) 入居前に事業所を見学に来ていただいたり、利用者、ご家族の不安なことはないか聞き取っておられる。又、入居間もない頃は、ご家族に頻回に来ていただけるよう、声をかけておられる。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 日々の生活の中で利用者の方から昔の話を聞きながら、出来る事を一緒に行い、共に学びあえるようにしている。また、教えていただいたときは感謝の言葉をかけている。 (外部評価) 利用者が自ら職員の作業を手伝ってくださったり、利用者の方の「ありがとう」の言葉から職員も感謝の気持ちに気付くこと等もある。管理者は、利用者の方から大正琴を教えていただき、ホームの皆に聞いていただいた。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 暮らしぶりや状態の変化は随時報告し、その都度、意見や要望を聞きながら本人さん、家族さんの思いを理解するように努めている。ホーム内の行事などできるだけ参加していただき、利用者の方と一緒に時間を過ごしていただいている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) フェイスシートを利用し、これまでの生活などもしっかり聞いて作成し共有している。家族さんが、面会時にはゆっくり過ごしてもらえよう配慮し、気軽に来れるよう努めている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 友人の方の面会や電話も多く、手紙を送ったりもしている。一緒に外出される事は少ない。		利用者さんの一人一人の馴染みの場所を知る。行きたい所への外出支援が気軽にできるように努力したい。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者さん同士の相性などを考え座る場所にも配慮している。お互いに支えあいながら協力できるように役割なども調整している。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 入院された利用者さんには職員が面会に行き、家族さんの相談を受けたりしている。家族さんとの関係がなくならないよう相談しやすい雰囲気作りを心がけている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			フェイスシートで情報を集めて対応している。またその時々で本人さんの意見を聞きながら対応している。意思の疎通が難しい方は、家族の方から意見を聞くようにしている。		一人ひとりの思いを聞いているが、もっと理解し今できることを気づきたい。
			(外部評価)		
			ご本人やご家族の思いを記入したシートを作成し、新たに情報が得られた時には追加し、共有されている。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			生活歴や昔の様子など聞いてはいるが十分とは言えない。		フェイスシートの利用はできているが、職員が同じように情報の共有はできていないので、今以上に本人さんや家族さんとの会話を大切にする。
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			健康面や体力なども考慮し、無理のない生活の支援を行っている。		
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			家族さんの参加は十分ではないが、できる限り家族さんからも情報を得よう努めている。カンファレンスを行ったり、その都度ケース検討会を行いながら、対応策などを考え取り組んでいる。		今後は本人さんや家族さんを交えての話し合いを行なっていく。
			(外部評価)		
			利用者、ご家族の意見や現場職員の気付き等を取り入れ、介護計画を作成されている。計画作成後は、計画の内容についてご家族に説明をされている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)			
				状態の変化に応じて見直し、ケース検討会なども行っているが十分とはいえない。		状態変化に応じて介護計画の見直しを行い、本人さんや家族さんの意向をくみ取る。
			(外部評価)			
			介護計画について3ヶ月に1回、モニタリングを行い、見直すようにされている。			
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)			
				日々の様子はカルテ等に記録している。変化があったときは介護計画やフェースシートに書くようにしているが、十分ではない。		介護計画に反映されるよう、細かく具体的にわかりやすく記録する。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>						
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)			
				本人・家族さんの状況に応じて通院や送迎等必要な支援は柔軟に対応し、個々の満足度を高めるよう努力している。また、リハビリ室もあり、利用者さんの機能訓練の支援も行なっている。併設のデイの利用者さんも利用される為、交流もできている。		
			(外部評価)			
			同敷地内にデイサービスがあり、日常的に交流されている。事業所内にリハビリ室を作り、体を動かす機会を作っておられる。現在、空き家になっている利用者のご自宅に、月に1回出向き、数時間過ごされることもある。			

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 地域の公民館の活動に参加したり、定期的に音楽ボランティアの方が来られている。消防の協力を得て防火訓練なども行っている。		小学校との交流を増やしたり、地域の施設なども利用しながら地域との関わりを深めていきたい。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 希望者はケアマネジャーなどと相談し、併設の通所介護の利用なども行い、地元の人との交流を行っている。		ケアマネジャーや他の事業者などとの交流をもっと深めていく機会を今後作りたい。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議にて必要な情報やアドバイスを頂いている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 看護師が対応し、連携医療機関の確保している。医療機関も協力的である。受診前には家族へ連絡し、受診している。受診後の報告も必ずしている。受診状況の記録も家族来訪時に見てもらい再度説明している。		
			(外部評価) 受診結果等、詳しくカードに記録し、ご家族もわかりやすいようにされている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 連携病院や専門医師に相談し、助言や指示をもらうことができている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護職を配置しており、利用者の健康管理や状態の変化に応じた支援を行っている。看護職がいない時も状況を報告し対応している。病院の看護職とも連絡を取りながら対応している。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 定期的に病院へ訪問し、主治医や病棟看護師などに経過を確認している。家族さんとも情報交換を行い早期退院の支援を相談し、退院時は書面での報告を受けている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 終末期には家族の協力、主治医の協力をお願いしている。終末期に関しての指針を定めており、状態の変化に合わせて本人さんの思いや家族さんの気持ちに配慮しながら支援している。また、職員の意識の統一をし、終末期に対する思いの確認をしている。		
			(外部評価) 看取りの指針を定め、ご家族とも話し合いをされている。終末期には、ご家族・職員・主治医・法人内の看護師が連携を図ることができるよう取り組まれている。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 家族さんとも十分に話し合いながら本人さんや家族さんの気持ちを大切に安心感が持てるよう対応している。急変時にはすぐに対応してもらうよう医療機関との連携もとれている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 他の事業所に移られた時はケアプランや記録を渡して、日々の様子や健康面などの情報交換を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p>					
<p><b>1. その人らしい暮らしの支援</b></p>					
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価) 利用者さんの状態に合わせた声かけや対応を行うよう心がけている。勉強会で徹底している。</p>		<p>言葉かけや対応については、ミーティング等で話し合い、徹底していく。</p>
			<p>(外部評価)</p>		
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価) 毎日のティータイムでは好みの飲み物を選んでもらっている。外出や入浴も本人さんに確認しながら希望に添うようにしている。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価) できるだけ、利用者さんのペースに合わせるよう心がけている。入浴の希望等もできるだけ合わせるようにしているが、職員側に合わせてもらっていることがある。</p>		<p>業務が優先にならないように、利用者さんのペースに合わせて動く事を心がける。</p>
			<p>(外部評価)</p>		
			<p>起床・就寝の時間、食事時間も利用者に合わせてもらうよう、努めておられる。</p>		<p>職員は「ちょっと待ってね。」と言わないようにすることを、今年目標とされていた。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 外出や行事のときは家族さんの協力を得ながら衣服を選んだり、化粧などもされている。理容・美容は理容師がホームへ来訪しカットしているのが主である。髪の長さの希望など聞きながら行っている。		家族さんに相談し、協力を得ながら理・美容室へも行けるよう取り組んでいきたい。
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 一人一人の好みや食事の形態にも配慮している。食事の下拵えは一緒に行っている。下膳や食器洗いも個々のレベルに合わせて行っている。		盛り付けも一緒にできるように取り組んでいきたい。
			(外部評価) 食事をおいしく食べていただけるよう、食事の時間、利用者へのかかり方や食材、調理方法等に工夫をされている。職員は、朝食、夕食は利用者と同じものを食べておられ、昼食時は、利用者と和やかにおしゃれしながら介助をされていた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 毎日のティータイムの飲み物は一人一人に聞きながら、希望に添って準備している。月1回のおやつ作りも利用者の希望を聞きながら一緒に作っている。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) できるだけトイレでの排泄を考え、排泄パターンを記入しチェックしながらトイレ誘導を行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			できるだけ希望を聞きながら行っている。回数や入浴の長さなど負担にならない程度で希望にあわせて行っている。		
			(外部評価)		
			毎日、入浴を希望される方の希望に沿っておられる。入浴を嫌がられる方には、馴染みの職員が誘う等、気持ちよく入浴していただけるようすすめておられる。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			日中も疲労の加減により居室で休んでもらったり、早起きの苦手な方にはゆっくり休んでもらうなど、個々に合わせた支援を行っている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			洗濯物干し・たたみ、食事の準備・片付け、自室の掃除、菜園など本人の希望や状態に応じてできることをしてもらっている。散歩や買い物にも出かけている。		
			(外部評価)		
			ご自分のお部屋を掃除され、布団を干す方や洗濯もの干し、食事の準備や片付け、金魚に餌をやる方もおられる。大正琴を職員に指導されたり、自らも練習し、ホームで職員とともに披露された方もおられる。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			家族さんと相談の上、小遣い程度は持ってもらっている。必要な物がある時は、一緒に買い物に出かけている。		入居時に本人さんや家族さんの意向は聞いているが、殆どホームで管理している。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			買い物やドライブ、地域の行事にも参加はしているが、日常的な外出は十分にはできていない。		日常的に散歩や近くの店に買い物に行けるよう取り組んでいく。
			(外部評価)		
			ご家族の協力を得て、お墓参りをされたり、自宅に戻られることもある。買い物やドライブに出かけることもある。		日々の暮らしの中で、利用者個々がさらに生活を拓げていけるような取り組みが期待される。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			仲の良い人とドライブに出かけたりしている。家族さんとも食事に行ったりされている。		家族さんに協力を得ながら外出できる機会を増やしていく。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			書ける人には手紙や年賀状を書いてもらっている。電話もこちらからかけることは少ないが、定期的に家族さんなどから、かかってきており話されている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			利用者のほとんどの家族さんがよく面会に来られている。湯茶等を出し日頃の様子を伝えたり、アルバムを見てもらったりと雰囲気作りに努めている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)  社内の勉強会がミーティングで話し合っており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		定期的な勉強会を行い、職員の意識を高めるよう努める。また、言葉遣いにも配慮していく。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価)  日中は玄関は出入り自由に行っているが、常に見守りはしている。		
			(外部評価)  日中は玄関を施錠せず、職員は外出の傾向を把握し、対応されている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価)  記録などは利用者さんの傍で行ないながら、全体の状況の把握にも努めている。夜間も1時間おきには巡回し、利用者の状態に応じて、すぐに対応できる場所で見守りをするようにしている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価)  本人さんの状態に応じて、自分で管理できる人はされている。管理が難しい方は家族と相談し預らせてもらっている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価)  事故報告書の提出や毎月、職員一人ひとりがヒヤリ・ハットを提出している。その都度カンファレンスを行い共通の意識を持ち、事故防止に取り組んでいる。		職員一人ひとりのケアの質の向上を図りたい。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 新人研修や定期的な勉強会で緊急時の対応を必ず指導している。また、マニュアルも作成し、実技もふまえて研修している。		今後、消防署にお願いし、救急の対応の指導をしてもらえる機会を持ちたい。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年2回消防署の協力を得ての防火訓練や、月1回の抜き打ちでの避難訓練を行なっている。家族にも協力をお願いし、面会時に一緒に訓練にも参加してもらっている。 (外部評価) 消防署が事業所の近くにあり、年に2回の協力を得て避難訓練を実施しておられる。又、毎月、抜き打ちの訓練を実施し、課題について検討されている。		数分でも早く避難できるよう訓練を重ねていきたい。 さらに、今後、避難後の安全確保についても話し合っていきたいと考えておられた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 日頃より面会時には話を聞き、家族ともコミュニケーションがとれるよう努めている。面会の少ない家族へも手紙を送ったり、緊急を要する場合には連絡している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 新人研修や定期的な勉強会で周知している。異常時は看護職に報告し、早めの受診を行なっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 看護職が確認し整理している。職員全員にわかるよう、薬剤情報をカルテに貼っている。変更時は説明している。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 水分を多く摂ってもらい、食事やおやつも繊維の多い物を出すようにしている。トイレに座る習慣をつけ、お腹のマッサージなども行なっている。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後口腔ケアを行なっている。利用者さんの状態に応じた歯ブラシを選んでいる。ポリドントによる洗浄も行なっている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事は毎食確認し記録している。水分もティタイムや食事の時にしっかり摂ってもらうようにしている。水分量は確認しあい把握しているが、記録はできていない。 (外部評価) 栄養士の立てた献立に、利用者の希望を採り入れ、調理されている。又、食事制限のある方の食事や水分摂取等にも配慮されている。		発熱時や水分を多く摂る必要がある時には、記録に残して明確にできるようにしていきたい。
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 勉強会等で全員に手洗い、うがいの励行を徹底している。面会に来られた方にも声をかけお願いしている。感染症のマニュアルも作成しており、速やかな対応ができるようにしている。本年もインフルエンザの予防接種は利用者、職員とも全員終了している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価) 栄養士が管理指導しており、まな板やふきんは毎日漂白し清潔を心がけている。食器はその都度乾燥機に入れている。冷蔵庫内の点検や掃除も定期的に行なっている。食材の管理にも気をつけている。</p>		
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b> (1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 日中はいつでも入れるようにしている。玄関の自動ドアも違和感のないように木造にしており、雰囲気作りの配慮もしている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 建物は改造の為、少し施設的な所もあるが、内装は木目調とし落ち着いた雰囲気があり、浴室やトイレ等は一般の家庭と同じ物を使用している。</p> <p>(外部評価) 玄関には、打ち抜き水を使用し水車が回り、金魚を飼っておられたり、季節の花が咲いていた。共用空間には、利用者がお好きな場所で一休みできるよう、木製のベンチをところどころに設置されていた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 廊下にはソファや椅子を置き、いつでもくつろげるようにしている。</p>		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			ホームで用意した物もあるが、テーブルやカーペット、椅子、趣味の物を持ってこられ、くつろげるようになっている。		
			(外部評価)		
			居室は、フローリングと畳の部屋を選ぶことができるようになっており、段差には手すりが設置されていた。ソファ・じゅうたん・写真・植木等、好みのものを持ち込まれており、利用者個々の暮らしの様子がうかがえた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			掃除をする時は窓を開け換気を行なっている。冷暖房もこまめに調節している。汚物は換気扇のついている所で管理し、ビニール袋に入れ口を閉じて、できるだけ戸外に出している。		掃除を細かく行ない、特に臭いがあるところは徹底して行い、においの原因をなくすよう努力していく。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			手すりはいたる所に設置している。居室内に段差があるところにも手すりを設置している。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			家庭的な雰囲気を考えて居室、トイレ、浴室は明示している。迷う時はさりげなく声かけをしている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			建物の前には水車小屋があり、池で金魚も飼っている。散歩時には休憩されたり、金魚のエサをあげることも楽しみにされている。裏には畑もあり、苗物の購入や野菜の収穫も一緒に行なっている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② ほぼ全ての利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者さんからその都度、意向や希望を確認するようにしている。家族の方から情報を得て、フェースシート等に記入しているが十分ではない。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ② 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	業務に追われることがあり、毎日難しい時がある。一緒にお茶を飲んだりしながら、できるだけ利用者の方とゆっくり関わりながら話を聞くようにしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ② ほぼ全ての利用者が2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自分からの訴えが少ない方は職員側のペースで動いてもらっていることがある。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ② ほぼ全ての利用者が2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	食器洗いや洗濯など、できることをしてもらうことで、とても良い表情をされ、すすんでされるようになった。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ② ほぼ全ての利用者が2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎日、散歩や金魚のエサやりなど外へ出るようにはしているが、行きたい所への支援は十分にできていない。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎日、バイタルチェックを行なっている。異常時や様子がおかしい時は、看護職や主治医に相談し対応している。受診時には必ず家族に報告している。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ② ほぼ全ての利用者が2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	具合の悪い方は早めに受診を行なっている。訴えの少ない方も様子を見ながら居室で休んでもらったりしている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ② ほぼ全ての家族と2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時には家族の方から話を聞き、何でも言ってもらえるよう努めている。こちらからも状況を電話して相談している。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ② ほぼ毎日のように数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	友人の方もよく面会に来られている。電話で話されることもある。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② 1 大いに増えている ② 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	地域の行事など相談員の方がよく協力してくれている。地域の方、近隣の方との関わりがまだ少ない。
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) ② 1 ほぼ全ての職員が ② 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員は笑顔で働いている。意見や困っている事もミーティングや個別に話し合いながら改善し、仕事を行なっている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ③ 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが ③ 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	訴えのある方は、できるだけ希望に添えるよう努めているが1人1人に対して十分なサービスができていないこともある。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ③ 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが ③ 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	その都度、家族の方から意見を聞くようにしているが、まだ遠慮されながら言われている方もいると思う。

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- ・ 建物の前には水車小屋があり、本物の水車が回っています。
- ・ 社内で職員の勤務年数に応じた研修を行ない、サービスの質の向上に努力しています。
- ・ 毎月、抜き打ちの避難訓練を行い、年2回は消防署の協力のもと防火訓練を行なっています。
- ・ 機能訓練室(リハビリ室)があり、利用者の方が自由にリハビリを行ない、また、他部署との交流もあります。
- ・ 利用者の方が住んでいた自宅を訪問し、おやつ作りをしたり、地域の方やボランティアの方と交流をしています。
- ・ 広報誌を見て地域の行事に参加し、なるべく地域の方と交流を持つように努力しています。